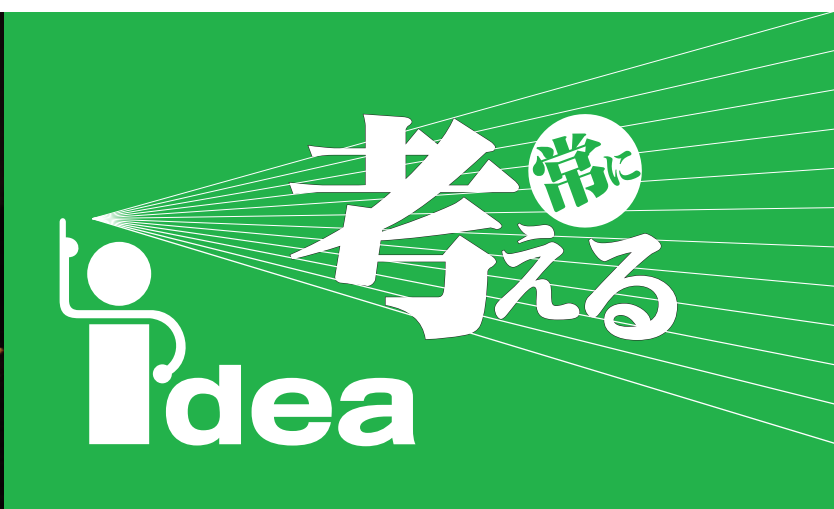




「長良川鵜飼の総がらみ」当社社員撮影



株主のみなさまへ

2018年12月13日に東京証券取引所市場第一部へ上場、並びに名古屋証券取引所市場第一部銘柄指定となりました。これもひとえに、株主のみなさまのおかげと心より感謝申し上げます。今後もさらなる事業の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。

さて、当連結会計年度における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に個人消費が持ち直している等、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、持家及び分譲住宅の着工戸数は増加しているものの貸家の着工戸数が減少する等、概ね横ばいで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開した結果、売上高は過去最高の360億35百万円と前連結会計年度に比べ8億60百万円（2.4%）の増収となりました。利益につきましては、原材料単価の上昇等により、営業利益は39億4百万円と前連結会計年度に比べ2億94百万円（7.0%）の減益、経常利益は39億16百万円と前連結会計年度に比べ3億36百万円（7.9%）の減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、共同ビル（東京都中央区）等の固定資産売却益17億47百万円を特別利益に計上したこと等により過去最高の41億14百万円と前連結会計年度に比べ11億85百万円（40.5%）の増益となりました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
2019年6月

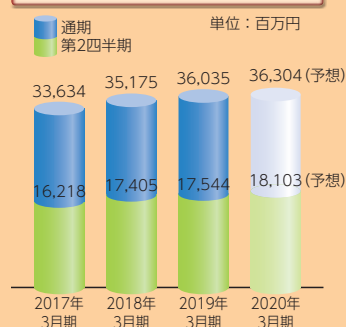
取締役社長

山田 雅裕

連結決算ハイライト

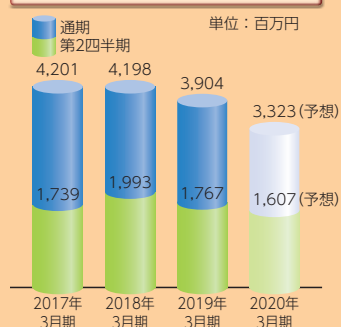
売上高

360億35百万円
前年同期比**2.4%増**



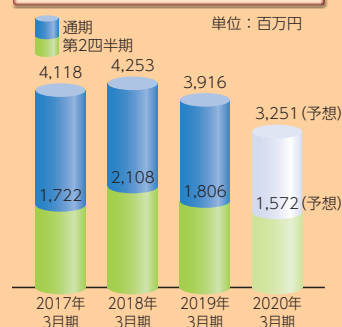
営業利益

39億4百万円
前年同期比**7.0%減**



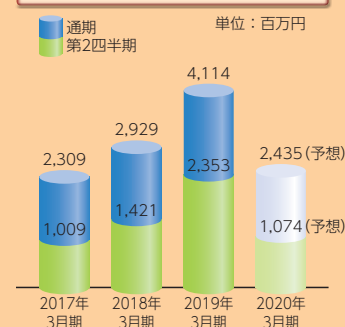
経常利益

39億16百万円
前年同期比**7.9%減**



親会社株主に帰属する当期純利益

41億14百万円
前年同期比**40.5%増**

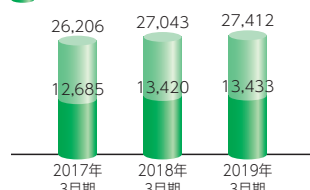


セグメント別の概況

電材及び管材事業

売上高

通期
第2四半期



単位：百万円

営業利益

通期
第2四半期



単位：百万円

製品用途

電気配線を保護するための樹脂管やその接続用部材
スイッチやコンセント等を取り付けるためのボックス
給水給湯用樹脂管・継手・水栓ボックス



「ミラフレキSS」等



「硬質ビニル電線管」等

電材事業につきましては、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキSS」やその附属品に加え、多種多様な製品を取りそろえる硬質ビニル電線管「J管」やその附属品等の電線管類及び附属品が増加しました。管材事業につきましては、「通気スライ」が増加したものの「ミラベックス」等の給水給湯用の樹脂管とその継手が減少しました。その結果、売上高が274億12百万円と前連結会計年度に比べ3億69百万円（1.4%）の増収となりました。営業利益は増収効果等があったものの原材料単価の上昇等により、33億37百万円と前連結会計年度に比べ4億93百万円（12.9%）の減益となりました。



「通気スライ」



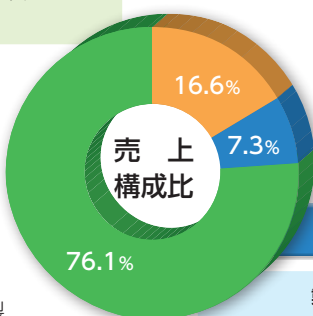
「ミラレックスF」等



「スライドボックス」等



「ミラベックス」等 給水給湯用部材



売上
構成比

配線器具事業

製品用途

スイッチやコンセント等の配線器具

配線器具事業につきましては、意匠性の高い配線器具「NK SERIE」の増加に加え、電材ルートへの活発な営業活動により「J・WIDE」等の配線器具が堅調に増加した結果、売上高が59億98百万円と前連結会計年度に比べ3億97百万円（7.1%）の増収となりました。営業利益は6億22百万円と前連結会計年度に比べ62百万円（11.1%）の増益となりました。



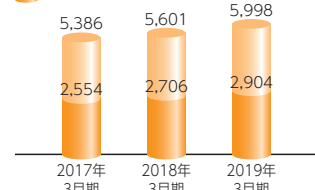
「NK SERIE」



「J・WIDE」

売上高

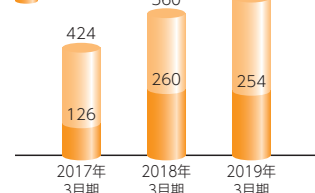
通期
第2四半期



単位：百万円

営業利益

通期
第2四半期



単位：百万円

その他の事業

製品用途

金型・機械の製作販売、建設業、電気通信事業等

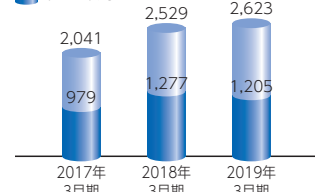
その他の事業につきましては、民間設備投資の増加を背景に「建設業」並びに「省力化機械及び樹脂成形用金型」が堅調に増加した結果、売上高が26億23百万円と前連結会計年度に比べ93百万円（3.7%）の増収となりました。営業利益は6億23百万円と前連結会計年度に比べ1億93百万円（44.8%）の増益となりました。



自動組付機

売上高

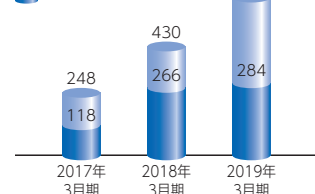
通期
第2四半期



単位：百万円

営業利益

通期
第2四半期

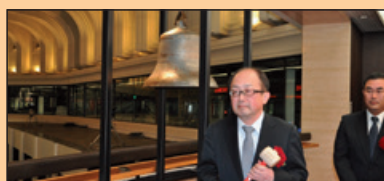


単位：百万円

TOPICS

東京証券取引所・名古屋証券取引所市場第一部上場

当社は、2018年12月13日に東京証券取引所市場第一部へ上場、並びに名古屋証券取引所市場第一部銘柄指定となりました。これもひとえに、株主のみならず、おかげと心より感謝申し上げます。さて、当社グループの事業関連である住宅建築業界では、住宅着工戸数の減少が見込まれておりますが、当社は建築現場における作業の省力化を目指したユニークな製品を提供するとともに、お客様に当社製品を周知いただき、ブランド力の向上並びにシェアの拡大を図り、売上拡大と収益の向上を目指していく所存です。今後は更に住宅向けの製品のみならず、非住宅向けの製品展開、他分野への販路拡大にも注力してまいります。

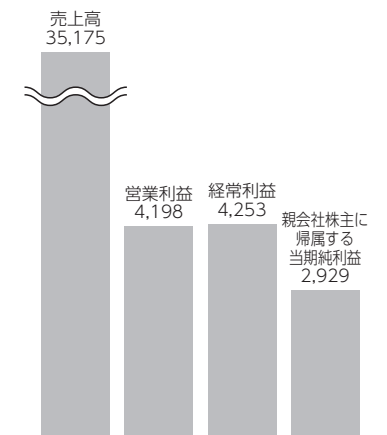


連結損益計算書（要旨）

前期（累計）

2017年3月21日～2018年3月20日

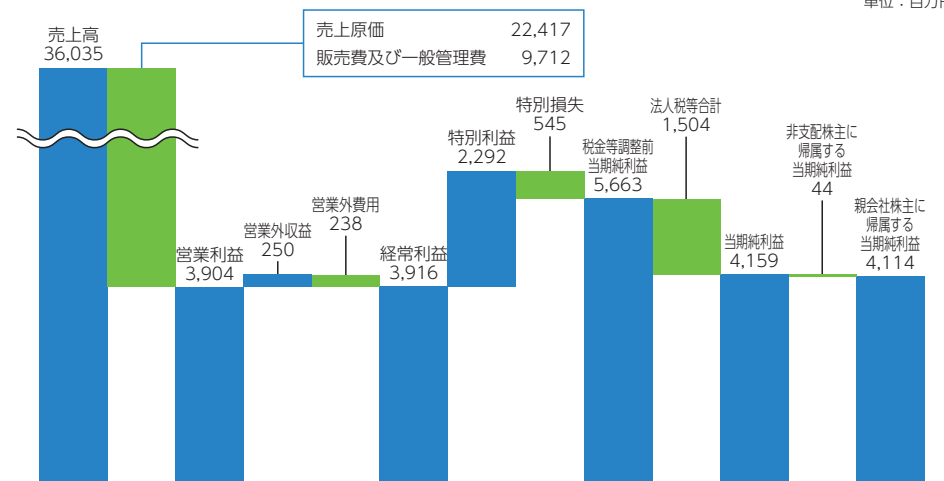
単位：百万円



当期（累計）

2018年3月21日～2019年3月20日

単位：百万円



連結貸借対照表（要旨）

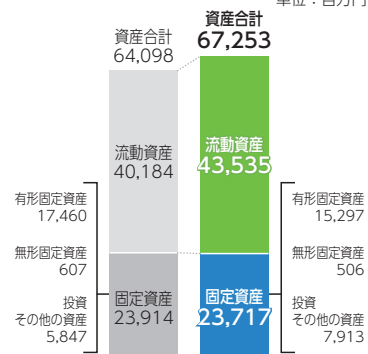
前期末

2018年3月20日現在

当期末

2019年3月20日現在

単位：百万円



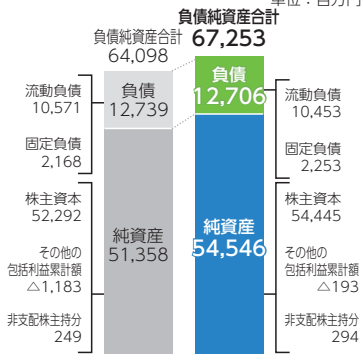
前期末

2018年3月20日現在

当期末

2019年3月20日現在

単位：百万円

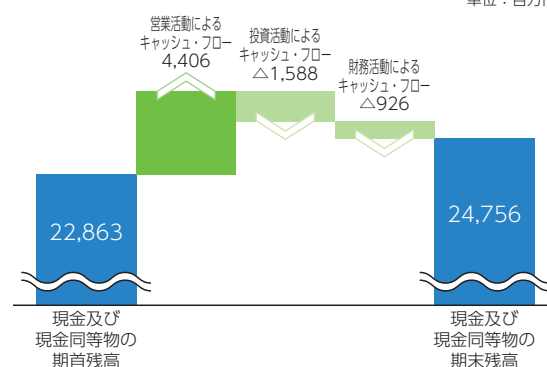


連結キャッシュ・フロー計算書

当期（累計）

2018年3月21日～2019年3月20日

単位：百万円



※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

配当金増額のご案内

当期における剰余金の配当金につきましては、株主のみなさまへの感謝の意を表するとともに東京証券取引所市場第一部へ上場、並びに名古屋証券取引所市場第一部銘柄指定を記念し、期末配当金について、1株につき4円の普通配当の増配に加え、4円の記念配当を実施いたしました。当期の中間配当金は1株につき16円、期末配当金は1株につき8円増配の24円とさせていただきますので、年間配当金は、1株につき40円となりました。また、



次期における剰余金の配当金につきましては、中間配当金は1株につき4円増配の20円、期末配当金も1株につき20円とさせていただきます。年間配当金は1株につき40円となる予定です。

なお、配当金・配当性向の推移につきましては裏面をご高覧ください。



会社概要等

会社の概況 (2019年3月20日現在)

商号	未来工業株式会社
本社所在地	岐阜県安八郡輪之内町楡保 1695番地の1
主要な事業内容	当社は、電気設備資材、給排水設備・ ガス設備資材等の製造販売を行ってお ります。
資本金	7,067百万円
従業員数	834名 (連結1,208名)

連結子会社 (2019年3月20日現在)

神保電器株式会社・未来精工株式会社・未来運輸株式会社
未来技研株式会社・未来化成株式会社・株式会社アミックスコム
株式会社ミライコミュニケーションネットワーク

役員 (2019年6月18日現在)

取締役会長	相 崎 有 平
*取締役社長	山 田 雅 裕
常務取締役	川 瀬 渉
常務取締役	中 島 靖
取締役	山 内 弘 治
取締役	後 藤 茂 之
取締役(社外)	磯 部 隆 英
取締役(社外)	廣 瀬 英 雄
取締役(社外)	勝 崎 視 美

(注) 1. *印は代表取締役であります。
2. 磯部隆英、廣瀬英雄及び勝崎視美の3氏は、監査等
委員である取締役であります。

株主メモ (2019年3月20日現在)

事業年度	3月21日から翌年3月20日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月20日
中間配当金受領 株主確定日	9月20日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 (公告掲載URL https://www.mirai.co.jp/) ※ただし、電子公告によることができない事故、その他 のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞 に公告いたします。

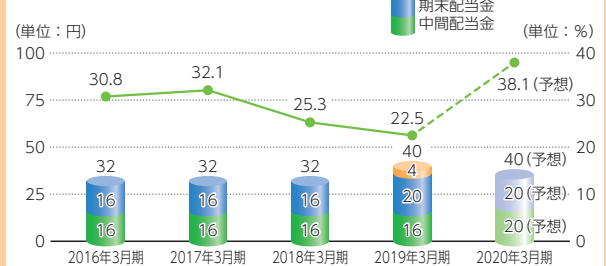


岐阜県安八郡輪之内町楡保1695番地の1
【お問い合わせ先】 経営企画部 TEL : 0584-68-1200

株主還元

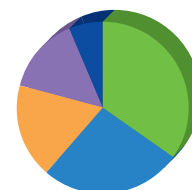
株主のみなさまに対する利益還元の基本方針は、業績及び健全な財務体質の維持と配当の永続的な安定性を総合的に勘案しながら配当水準の向上に努め、維持できるよう努める所存であります。また、留保する利益の一部を研究開発や生産設備等への投資に充当してまいります。

配当金・配当性向の推移



株式の状況 (2019年3月20日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,607,086株 (自己株式1,602,521株を含む)
株主数	2,928名



所有者別分布状況 (%)	
個人・その他	34.8
金融機関	26.7
その他の国内法人	17.7
外国法人	14.6
自己名義	6.2

大株主の状況 (上位10名) (2019年3月20日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
CGMLPB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	3,364	14.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,331	13.8
未来A.K.O.株式会社	2,376	9.8
名古屋中小企業投資育成株式会社	1,495	6.2
清水琴子	1,194	4.9
未来社員持株会	1,030	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75647口)	840	3.5
山田雅裕	768	3.2
山田智絵	768	3.1
清水陽一郎	725	3.0

(注) 1. 当社は、自己株式1,602千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
なお、自己株式 (1,602千株) には、株式付与ESOP信託口・75647口が所有する当社株式 (840千株) を含んでおりません。
2. 持株比率は自己株式 (1,602千株) を控除して計算しております。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。